



～夢の素材をつくる 花と絵と音楽と水のある学校～

国立二小だより

平成26年10月31日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

新しいステージに向けて夢や希望を育てる

校長 小林 理人

実りの秋も深まり、紅葉の季節から落ち葉の季節に変わろうとしています。葉が落ちたあとの枝先をよく見てみると、もうそこには新しい季節に向けての新芽が活躍のときを待ちわびるかのように息づいています。

先日は、本校に来年度入学する子供たちが就学時健康診断のために来校しました。本校では、この就学時健康診断を「①新1年生が安心して入学すること」「②全教職員が個に応じた適切な指導を行うこと」の二つの意味がある大変大切な場であると考え、今年度から全教職員でその対応にあたるとともに、新1年生を最高学年として迎える5年生が、新しく入学する子供たちに向けて「学校紹介パンフレット」をつくり、プレゼントする取組を始めました。このことも本校が進める小学校と幼稚園、保育園との連携を図る取組の一つです。

そして、運動会では、今年度から開会式において、二小を卒業した中学生の励ましの言葉を実施しました。これは、これまで行っていた中学校訪問と同様に中学校との連携を考えた取組の一つです。

なぜ、今「連携」なのか・・・

平成25年度 問題行動調査（東京都） 不登校児童・生徒数

（単位は人）

学年	小学校						中学校		
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生
不登校児童・生徒数	91	158	234	441	594	848	1693	2596	2875
増加数		+67	+76	+207	+153	+254	+845	+903	+279

上の表は、東京都における不登校となった児童・生徒数を学年別にしたものです。この表からも分かるように、中学校への進学をきっかけとして不登校となる子供が非常に多いことが分かります。（いわゆる中1ギャップ）そこで、小学校から中学校への接続を円滑化する必要があり、本校や市内の中学校では様々な工夫や取組を行っています。

また、小学校に入学したばかりの1年生が、「集団行動がとれない」「授業中に座ってられない」「先生の話を受けない」などと学校生活になじめない状態が続くこと（いわゆる小1プロブレム）も大きな問題の一つとなっており、小学校と幼稚園、保育園との連携を図るための取組も積極的に行っています。

国立第二小学校の試み・・・

以上のことから、幼稚園、保育園から小学校への連携、小学校から中学校への接続を円滑にするために、運動会や就学時健康診断などの工夫や見直しを図ったり、中学校の教員と一緒に授業に関する研修を行い、指導内容や指導方法などの情報をもとに授業改善を進めたりしています。

また、今年度は3月に中学校の説明会を中学校で行い、中学校での授業を体験したり、学校生活についての説明を受けたりする取組も予定しています。

このように、「ギャップ」や「壁」となっている進学が、飛躍のきっかけや子供たちの夢や希望につながるように今後も様々な工夫をしていきます。詳しくは裏面をご覧ください。